

瑞浪高校創立 100 周年記念講演会

2023 年 5 月 18 日に母校の 100 周年記念事業の一環として、母校出身の映画監督・塚本連平さん（60）の講演会が母校の体育館で行われました。

首都圏同窓会としては東京から本会会長、幹事長及び地元に戻られた 46 年卒の本会の会員 3 名が参加致しました。

講演会の始まりまでは、校長室の隣の会議室に待機させて頂き、手厚い対応に大変感激いたしました。

講演が始まる前に伊左治校長からのご挨拶が有り、その後、監督が紹介されました



静まり返った中、塚本監督の講演が始まりました。
先ずは生徒が興味を持った、どうして監督に成ったかの話からです。
幼少の頃、兄に連れられて行った映画館で観た映画がきっかけで、大変興味を持ち、この世界に入りたいと思ったそうです。
そこからは一途で夢に向かい、高校を卒業してからは日大芸術学部を目指したとの事です。
しかし、その夢も家業を継がせようとした父親の反対があり、又、受験失敗も有ったそうですが、母親の理解と母親の父親への説得のお陰で、今に至ったとの事です。
生徒たちには、やりたい事を見つけ、少しづつでも積み重ねる事が大切だと語り掛けられていました。
この「映像の世界」で大活躍する塚本監督の生の発言は生徒たちの心にも鮮明に刻まれたと思います。





講演会の終了後には、もっと話を聞きたい男子生徒たちが、監督を囲んで談笑している様子が大変仄々しく思われ、監督の優しさを垣間見る事ができました。



講演会終了後、改めて会議室に伊左治校長、塚本監督、母校同窓会副会長の石田様、前同窓会会長の市川様、首都圏同窓会会員 5 名が集まり、会談を致しました。

まずは、塚本監督に東京での今後の首都圏同窓会の席に参加して頂けないかとのお願いを致しました。

監督からは快く承諾を頂き、時間の許す限りは参加して頂けるとの事です。

次に、同窓会副会長の石田様に今後の両会の情報交換を密にして頂きたい事と、卒業生の情報も差し障りのない程度にお伝え頂きたい旨もお願いを致しました。

又、以前、会長の加藤様にお願いをしていたチラシなどの印刷代、及び本会の運営に必要な経費の援助を、改めてお願いを致しました。

その場の回答としては、本年 6 月 9 日の同窓会総会で協議するので、それまでに費用的なものを提示してほしいとの事でした。

そして、伊左治校長から 100 周年記念誌への原稿依頼を頂き、担当の瀨瀬先生を紹介して頂きました。

又、母校の HP 担当の先生も紹介して頂き、今後の密なる交流をお願い致しました。

今回の講演会とその後の会談は、大変に意義のあるものだったと感じております。

令和 5 年 5 月 24 日

瑞浪高校首都圏同窓会

会長

伊藤一徳